



第47回日本創造学会研究大会は
千葉工業大学津田沼キャンパスで開催されます

開催日程: 2025/11/1(土)～2(日)



三浦元喜
実行委員長



五郎丸秀樹
副実行委員長



藤原由美
実行委員
(プログラム担当)



古川洋章
実行委員
(プログラム担当)



杉原麻美
実行委員
(プログラム担当)

- 【参加方法】第47回研究大会参加申込書を学会事務局までお送りください。
申込書: <https://www.japancreativity.jp/report/conferences/>
- 【会場】千葉工業大学津田沼キャンパス 7号館 1階フレキシブルワークスペース (FWS)
(千葉県習志野市津田沼2-17-1 JR津田沼駅徒歩2分、京成新津田沼駅徒歩3分)
- 【発表申込締切】9月1日 【研究発表論文/レジュメ提出締切】9月末日(厳守)
- 【内容】講演会、ポスター/インタラクティブ発表会、親睦会(1号館20F展望フロア軽食付き)
フェロー就任式、学会賞表彰式、総会報告、写真撮影等
- 【開催方法】対面開催(ポスター発表で希望者のみ収録動画によるオンライン発表可)
- 【参加費】事前振込 学生(会員/非会員同額)2,500円、正会員3,000円、非会員4,000円
当日参加(共通)5,000円※現金のみ
- 【親睦会参加費】学生会員2,000円、正会員3,000円、非会員5,000円 ※親睦会申込締切10/11、取消不可
- 【発表論文掲載料】4頁まで2,000円、1頁追加ごと1,000円(最大8頁まで)
- 【ポスター発表レジュメ掲載料】A4/1頁500円 追加頁不可 ※書式自由A4判1枚に収める
- 【大会論文集】研究大会論文集はPDF(ダウンロード)で事前配布

スケジュール予定 ※発表申込状況などによりスケジュールが変わる可能性があります

11/1 (土)	14:00	開場・ポスター貼付準備	11/2 (日)	9:00	開場・ポスター貼付準備
	14:15	オープニング		10:00～ 11:15	インタラクティブセッション2 (概要説明15分+回遊タイム60分)
	14:30～ 15:45	招待講演 (60分+質疑15分)		11:15	休憩・入替え 15分
	16:00～ 17:15	インタラクティブセッション1 (概要説明15分+回遊タイム60分)		11:30～ 12:30	ポスターセッション1 (概要説明15分+回遊タイム45分)
	17:30～ 19:30	親睦会 (会場: 1号館20F, 軽食付) フェロー就任式・表彰式・総会報告		12:30	記念写真・クロージング

大会テーマ：地域社会の活性化と創造性

近年、世界情勢の不安定化が続き、経済・社会の先行きに不透明感が増しています。日本においても、観光業の回復とともにオーバーツーリズムの課題が顕在化し、地域の持続可能な発展が問われています。一方で、大阪万博2025の開催をはじめ、各地で新たな活力が生まれつつあります。こうした状況の中、私たちは「地域社会の活性化と創造性」に焦点を当て、持続可能で創造的な地域の未来について考えます。本大会では、創造的思考を活かした課題解決の方法ならびに、それを用いた地域の新たな価値創造につながる知見を共有する場としたいと考えています。

基調講演：創造性を育むまちづくり

三矢勝司氏
名古屋学院大学現代社会学部 准教授
岡崎まち育てセンター・りた 創業者

千葉大学大学院で参加型デザイン、まちづくり支援システムを研究（1999）。関東の建築事務所等での勤務の後、故郷岡崎でまちづくりNPO設立（2006）。2023年より現職。博士（工学）

まちづくり分野で「創造性」が問われるようになった一つのトピックスに1990年代の「創造型まちづくり」があります。当時、市民参加やワークショップ、協働といったキーワードが注目され、今に続くまちづくりにも大きな影響を与えています。

今回、ゲスト講師としてお招きする三矢さんは創造型まちづくりの実践者として四半世紀にわたる実績をもつ一方、2023年から大学で教鞭をとるなど、多方面で活躍をされています。

講演では、千葉時代に携わった市民参加による公共施設デザイン事例や、人々の創造性を育むまちづくりの実践例、さらに愛知県地方での取り組みを交えて「創造性を育むまちづくり」の実践と理論についてご紹介いただきます。

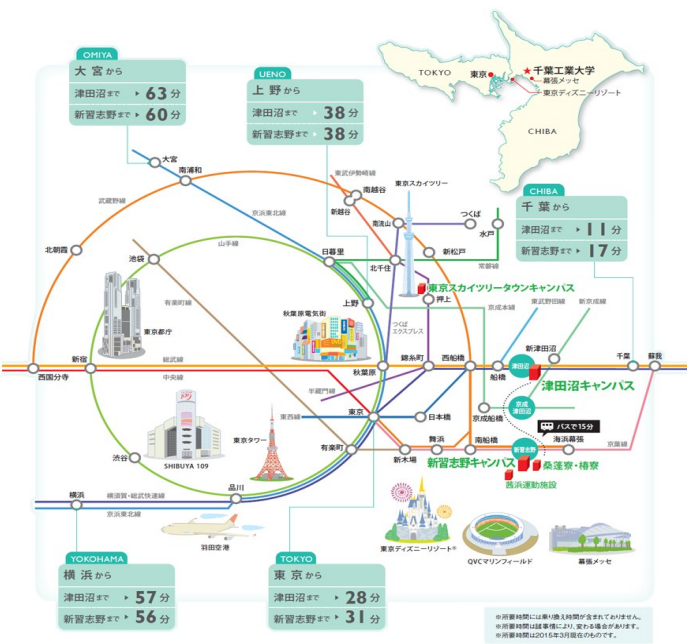


【宿 泊】

日程が3連休中のため早めの宿泊予約をおすすめします。
ご自身で予約をお願い致します。

- (津田沼近隣のホテル)
- ホテルメッツ津田沼/船橋 2～4万円
- ベッセルイン京成津田沼 1.4～2万円
- メイプルイン幕張（幕張本郷）1.6～2万円
- 東横INN 千葉駅前 1.2～1.5万円（新鎌ヶ谷も）
- アパホテル八千代緑が丘 1.2～1.5万円
- レオ癒カプセルホテル 船橋店（船橋）0.5～1.0万円
- 市川グランドホテル（市川）1.5～2万円
- 天然温泉 湯～ねる（新習志野）1.0～1.5万円
- カプセルホテルファミリー（津田沼）男性のみ
- カプセルホテル系：船橋駅、千葉駅など

【アクセス】



研究発表について

〈インタラクティブ発表の場合〉

- ・発表は会員に限ります。非会員で発表希望の方は入会手続き後にお申し込みください。
- ・論文は所定のテンプレートに従い基本4ページで作成してください。
- ・ページ超過は最大8ページまで。@1000円の超過料がかかります。論文の査読はありません。
- ・インタラクティブ発表（ポスター/机上での展示やデモなどを含む）は全体で60分間です。

〈ポスター発表の場合〉

- ・提出用レジュメに様式はありません。（形式自由）A4サイズ1枚に納めてください。
- ・発表は会員に限りますが、学生のみ非会員でも発表可とします。
- ・ポスター発表は全体で45分間です。

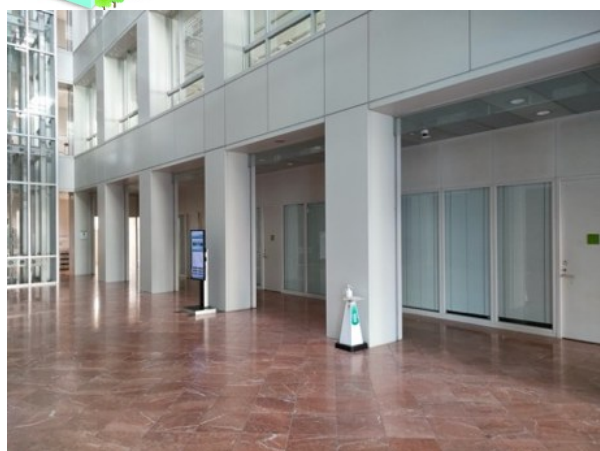
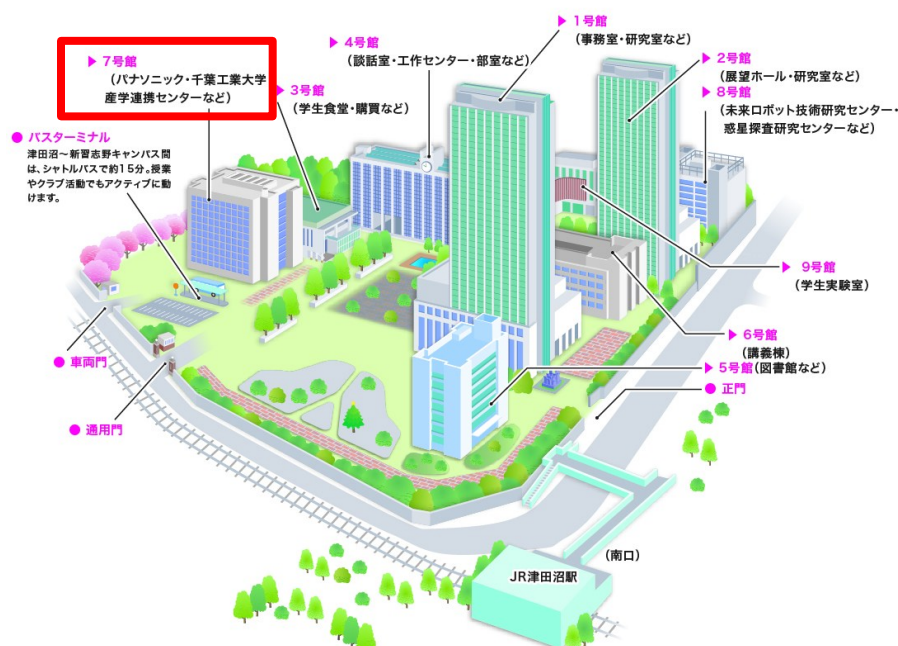
※いずれの発表も仮説のままや実験途中の案件でも構いません。

【発表での注意事項】

- インタラクティブ発表では机を使用できます。ポスター発表は机は使用しません。
- インタラクティブ発表・ポスター発表ともに、幅82cm、高さ180cmのパネルを利用して発表します。掲示用のテープやピンは会場に準備いたします。
- インタラクティブ発表で電気を使用するデモ機器やノートPCを使用したい場合はコンセントは会場床にあります。インターネット回線（Wi-Fi）を使用できます。
- どちらの発表もプロジェクターを使用した通常の口頭発表とは異なりますのでご注意下さい。

※発表についてわからないこと等がありましたら、学会事務局にメールでお問合せください。

千葉工大津田沼キャンパスマップ





大阪・関西万博参加 留学生支援企画のご案内

理事長 豊田貞光

平素より本学会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび日本創造学会では、会員が指導または支援する留学生による「2025年大阪・関西万博」に関する調査・研究および研究大会での発表を支援する企画を実施いたします。

本企画の参加対象は、日本国内の教育機関に在籍中の留学生で、各自で万博を訪問・調査・研究し、その成果を日本創造学会研究大会にてポスター形式で発表していただきます。

万博訪問にかかる交通費、宿泊費、入場チケット代（支援上限4万円）は、研究発表後精算支援いたします。また、参加する留学生の学会登録費および研究大会での参加・発表費用については、学会が負担いたします。

本企画は、国際交流を目的とした日本創造学会の活動に対し、故・立石信雄氏（元オムロン株式会社 会長）よりいただいた寄付金を基金として実施するものです。

参加をご希望の方は、募集要項をよくご確認のうえ、お申し込みください。

※応募要領は[こちらからダウンロード](#)ができます。

応募から実施の期間：6月1日～9月15日



▲▼▲第89回クリエイティブサロン（2025年6月8日）開催報告▲▼▲

2025年6月8日「アワード受賞者講演会」がオンラインで開催されました。各講演の動画はオンデマンドで視聴いただけます。

日本学術会議
登録団体

日本創造学会第89回クリエイティブサロン

『日本創造学会 アワード受賞者講演会』

2025/6/8 **SUN** 13:30 start @Zoom

司会：豊田貞光
日本創造学会理事長

参加費
無料

小学生向け課題設定支援ツールの開発と評価「図書室の改善」を題材としたデザイン思考の共感・問題定義プロセスによる学習	異なるペルソナを持つマルチLLMを用いた合議制アイデア評価システムの提案	別領域との組合せを促す新たなアイデア発想モデルの構築	Imagine Card 変な動きで想像力を刺激する！20の指示カード
 論文誌Vol.27論文賞 高瀬和也氏 鹿児島大学大学院教育学研究科 助教	 46th研究大会発表賞 古川洋章氏 北九州市立大学准教授	 46th研究大会発表学生賞 熊谷彩乃氏 法政大学専門職大学院	 46th研究大会デジボス発表賞 石井力重氏 アイデアプラント 代表

- 論文賞 Vol.27
- 高瀬和也氏講演：<https://youtu.be/gl-tdrDKj8k>
- 46th研究大会発表賞
- 古川洋章氏講演：<https://youtu.be/f3ra8e818lk>
- 46th研究大会発表学生賞
- 熊谷彩乃氏講演：<https://youtu.be/291lezNY8bY>
- 46thデジボス発表賞
- 石井力重氏講演：<https://youtu.be/OhUHZOFwK1g>

「既存の要素」段階こそ、アイデアを出し続ける源泉となる



加藤昌治 日本創造学会会員
UNIVERSITY of CREATIVITY (株式会社博報堂)

アイデア、発想法に関する書籍を何冊か出版したことからのご縁で、年に10回程度、アイデア発想に関するワークショップを実施しています。参加される方は老若男女。学生を含め職業もさまざまです。以下、ワークショップの参加者みなさんとの会話から生まれた、私の気づきについての小文です。

「アイデアとは既存の要素の新しい組み合わせ以外の何ものでもない」。ジェームス・W・ヤングさんの有名なフレーズ。本学会員のみなさまにもお馴染みでしょう。私も必ずワークショップ中にご紹介をしています。では、われわれは、この定義≡アイデアが生まれるプロセスの中、いったい何処で自らの創造性を発揮しているのでしょうか？ 私見ですが、プロセスを分解すれば、大きく3つのフェイズに分かれる、と整理しています。

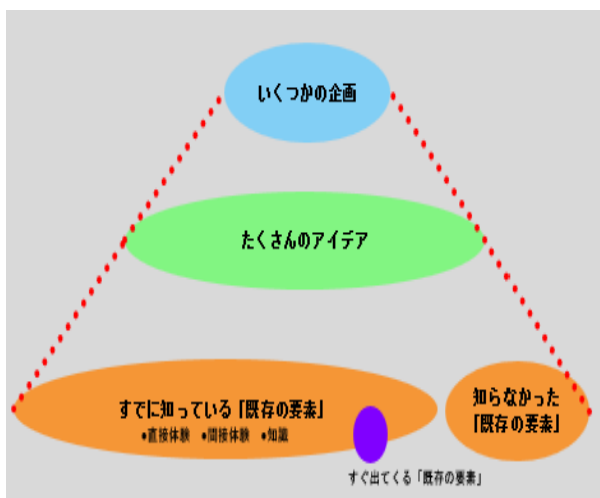
- (1) 「既存の要素」を集める／発見する
- (2) 集めた／発見した「既存の要素」を組み合わせる
- (3) 組み合わせた概念（アイデア）を記述する

この3つです。で、多くの方が発想法などのメソッドに求めるのは（2）の段階のようです。「どの発想法が一番有効ですか」「まずどんな方法を使えば好いのでしょうか」。云い方はそれぞれですが、この手のご質問、とても多いです。その質問の裏側にある心持ちを推測すれば、「組み合わせる方法／術」にこそ、創造性発揮の余地があると認識している。あるいはご自身の創造性が追いついていない感覚、があるとも云えるでしょう。

もちろん、発想法の多くがこのニーズに応えています。「お、そんな組み合わせ方があるのか」「むしろ強制的に組み合わせると、意外に・・・」。先達の先生方が開発・実践されてきたメソッドには、具体的な前進力、パワーがあります。

しかし、と私はこうした対話に一言挟みます。「組み合わせ方はもちろん大事。けれどアイデアを出し続けるためには、（1）既存の要素集めが大事なんですよ」。その際に提示するイメージ図がこちらです。

構造的にはピラミッド。裾野が広い方が結果出てくるアイデアの数、バリエーション、そしてクオリティが上がります。ポイントは「出し続ける」。組み合わせ「だけ」に頼るのは、長続きしにくいのです、という点。云い換えれば、アマチュアとプロフェッショナルとの違い。アマチュアとプロとの違い、ひとつは“試合数”です。プロフェッショナルはリーグ戦。長いリーグ戦を通して優れた成果を上げるには、アイデア発想の継続を支えるだけのリソースが必要になります。



つまり「既存の要素」を増やし続ける、源泉として蓄え続ける行動が、その先にある豊かなアイデア群の誕生（の連続、あるいは高い確率）を担保している。多くの人にとって「もやもや」することでしょう。なんせ、いつ役に立つかわからない「既存の要素」を仕入れ続けるなんて、ホントに意味あるの？ と問いたくなる気持ちは分かります。

さらにこの「既存の要素」には、データや（静的な）知識も含まれますが、アイデア発想する人の個人的な体験や経験が多いに威力を発揮します。多くのヒット商品物語を再読するまでもなく。そして再現性や説明責任が重視される2020年代、ここで「 $n=1$ に依存していいのか問題」が別途発生してくるのですが・・・紙幅が尽きました。この問題、学会員のみなさんと議論してみたい論点のひとつです。

新入会員紹介



入会者（入会順）

氏名	会員種	所属	住所	専門分野
山本 孝志	学生会員	北陸先端科学技術大学院大学	東京都	知識科学・情報処理システム・デジタルイノベーション
嶋田 知子	正会員	九州大学大学院芸術工学府	京都府	建築学・土木工学・デザイン学
飯田 裕美	正会員	パナソニック ホールディングス株式会社	東京都	イノベーションプロセス 人間中心設計・共創デザイン
水谷 美香	正会員	パナソニック ホールディングス株式会社	兵庫県	未来洞察・ユーザビリティ ワークショップ設計

次期評議員選挙結果

2026年度からの新たな体制のための役員（評議員）選挙が実施されました。以下の方々が評議員に選出され受諾されました。今後、次期評議員の互選選挙により理事監事が決定します。

次期評議員氏名（50音順敬称略）

赤木真由
國藤進
豊田貞光
古川洋章

五百木誠
紺野登
永井由佳里
松前あかね

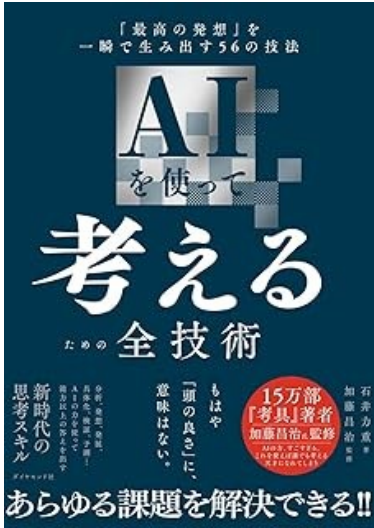
エド・はるみ
白坂成功
西浦和樹
三浦元喜

尾澤知典
高橋誠
西村拓一
森田純恵

加藤昌治
田村新吾
野中朋美
安松健

川路崇博
当麻哲哉
藤原由美
由井蘭隆也

書籍紹介



AIを使って考えるための全技術
「最高の発想」を一瞬で生み出す56の技法
著者：石井力重 監修：加藤昌治 ダイヤモンド社
2,700円+税

問題の解決策やアイデア発想など。
よりよく「考える」ためのAIの活用技を教える本。

本書は、発想術の専門家である著者がこれまでに生み出してきた「発想の技法」を、AIで再現できるようにしたものです。本書で紹介する技法と、それぞれの「指示文」を活用すれば、AIから自らの知識や思考の枠を超えた素晴らしいヒントを得ることができ、思考の質が圧倒的に飛躍します。

- ★AIを使ってあらゆる課題を解決する56の技法を紹介
- ★56技法のプロンプトは、すべてダウンロード可能
- ★無料版、最新版のAIに完全対応
- ★この本が、あなたの人生から「悩む時間」を消し去ります

事務局メッセージ

ー世界がひとつになる未来へー

日本創造学会では2025年大阪万博に留学生が参加できる支援プログラムを実施しています。多様な文化と創造性が交差する万博の舞台から、留学生たちが自らの視点や想いを発信できるよう、私たちは支援を行っています。

創造性と多様性を力に、誰もが可能性を試せる未来へ。一步を踏み出す後押しをしませんか。

(事務局：比嘉)

日本創造学会 ニュースレター

2025年7月発行 (No.2)

日本創造学会事務局

発行人：豊田貞光

編集担当：比嘉由佳里

〒272-0031 千葉県市川市平田

1-10-2

Tel 080-3465-6152

e-mail：jcs-info@japancreativity.jp

http://www.japancreativity.jp